

羽島市ではご登録いただきました「羽島市防災コーディネーター」の皆様への情報提供のためニュースレターを発行しております。

はじめに

近年、記録的な台風や豪雨による災害により、全国各地で甚大な被害が発生しています。

石川県では、令和6年1月に発生した能登半島地震や同年9月に発生した奥能登豪雨の影響で、甚大な被害を受け、現在も避難生活を送って見える方がみえます。ライフラインについても、本格的な復旧・復興にはまだまだ時間がかかりそうです。

県内でも、令和6年8月末の台風10号の接近に伴う大雨により、大垣市と池田町において家屋浸水や農地浸水等の被害が発生し、災害救助法が適用されました。幸いにも本市においては大きな災害等は発生しておりませんが、本市は木曾川、長良川、境川などの一級河川に囲まれ、水害リスクについても市民が意識し、平時からの防災対策、災害時の的確な避難行動が大切です。



<石川県輪島市の被災後の様子>

市制施行70周年事業 防災フェスティバル

令和5年3月にワークショップを開催し、策定に取りかかった「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例」を6年4月から施行したことに加え、市制施行70周年の節目の年であったことから、4月28日（日）に不二羽島文化センターをメイン会場、市立図書館、コスモパーク羽島をサブ会場とし、『防災フェスティバル』を開催しました。

メイン会場では、災害協定団体等による防災啓発として、停電情報アプリ紹介、耐震相談、ガソリン満タンで安心運動、防災グッズの展示等を実施しました。



<災害協定団体等による防災啓発の様子>

サブ会場では、起震車による地震体験や防災・災害関連書籍等の展示、自衛隊の協力による非常食炊き出し訓練も実施しました。



<起震車による地震体験の様子>



<非常食炊き出し訓練の様子>

また、例年開催している「自主防災組織リーダー研修会」及び「防災コーディネーターフォローアップ」を同時開催し、清流の国ぎふ防災・減災センタ

一の村岡治道氏による「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例について」条例制定記念講演を行いました。参加者の皆様に、条例策定までの経緯や条例に込められた市民の関心や決意などを詳細に解説していただきました。



<条例制定記念講演会の様子>

条例の制定にあたっては、防災会議に専門委員を置き、専門部会を設置し、検討を行いました。また、市防災コーディネーターや地域、小・中学校等で合計30回のワークショップを開催し、1,376人から8,000件を超える意見を頂戴し、条例案を作成しました。意見の約8割が自助に関するものであったことから、自助中心の条例となっています。条例の詳細については、右のQRコードを読み取って市ホームページの資料でご確認ください。



市総合防災訓練

9月29日(日)午前8時から、市総合防災訓練を開催しました。市全域でシェイクアウト訓練、『無事ですタオル運動』を実施し、その後、中部地域会場の竹鼻小学校、福寿小学校、中央小学校、中央中学校、羽島高校では地元の方の市民の方にご参加いただき、能登半島地震を踏まえた避難所開設訓練を実施しました。

市防災研究会の方には、事前研修とフォローアップ研修を受けていただき、当日は各会場で簡易トイレの使い方や避難者自らによる避難所運営の心得などの説明にご協力いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



<避難所開設訓練の様子>

出前講座(啓発活動)

今年度出前講座では、『防災じぶん講座～自分の命は自分で守ろう～』として、「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例」についての解説や能登半島地震で大きな課題となったトイレについて、主に啓発させていただきました。

その他にも、「起震車による地震体験」や「防災備蓄倉庫の説明」などを実施しました。

R6年5月	22日	竹鼻コミュニティセンター
5月	23日	外栗野老人クラブ
8月	1日	学校教育研究会
9月	8日	上中町沖区
9月	25日	中央小学校4年生
10月	2日	羽島高校1~3年生
10月	13日	国際交流協会
10月	20日	舟橋区・宮北区合同福祉会
R7年2月	2日	防災研究会
2月	6日	足近小学校4年生
2月	16日	桑原町民文化祭実行委員会
3月	9日	下中町石田区

<令和6年度実績 令和7年3月17日時点>

市防災コーディネーターフォローアップ研修

令和7年2月15日(土)午後1時30分から不二羽島文化センターで、能登半島地震で被害を受けた石川県中能登町から、震災復興対策室長補佐の村守一志氏、長寿福祉課高齢者支援センター課長補佐の向井幸子氏をお招きし、「中能登町の現状」等について講演を行いました。今回は、中央公民館講座はしま学事始(市生涯学習課)と共同開催し、市防災コーディネーターのほかにも多くの市民の方にご参加いただきました。

本市は、岐阜県の対口支援先として中能登町が指定されたことから、令和6年1月より中能登町において、下水道管渠の被害調査、住家被害認定調査及び生活再建支援等を行ってきました。



<市防災コーディネーター研修の様子>

市防災研究会の主な活動

◇総会

令和6年4月21日（日）、市福祉ふれあい会館において、総会を開催しました。

◇羽島市防災フェスティバル

4月28日（日）、不二羽島文化センターを中心に行われた『羽島市防災フェスティバル』というイベントに、研究会も「まちかど自助チェック」「災害時携帯トイレ」「給水袋運搬体験」のブースを出展したほか、研究会の過去の活動の紹介もさせていただきました。



<まちかど自助チェックの様子>



<研究会紹介ブースの様子>

◇ピクニック日和

11月3日（日）、木曾川堤外にある国営木曾三川公園桜堤サブセンターにおいて国土交通省主催の『ピクニック日和』というイベントが開催され、昨年度に続き、研究会も出展を依頼され、主に能登半島地震で大きな課題となったトイレの説明を行ったところ、昨年までに比べると多くの方が耳を傾けてくれました。



<簡易トイレの説明の様子>

◇岐阜羽島駅前フェス

11月9日（土）、10日（日）の2日間に渡り新幹線岐阜羽島駅前通りを歩行者天国にして『ぎふ羽島駅前フェス』が開催されました。研究会もブース出展し、防災ゲーム・新聞紙クラフトワーク・簡易トイレ・煙体験ハウスなどのコーナーを設け、来場者に防災への啓蒙普及活動を行いました。



<防災ゲームの様子>

◇フォローアップ研修会

令和7年2月2日（日）に、市福祉ふれあい会館（地域ふれあいスペース）において、研修会を開催しました。今回のテーマは『大災害発生時の対応体制について』で、市市長室危機管理課、上下水道部工務課、健幸福祉部福祉課、消防本部羽島消防署の職員の方に講師を依頼し、それぞれの災害時の体制について説明をしてもらいました。



<フォローアップ研修の様子>

◇その他の活動実績

令和6年度に市内で行われた防災イベント等で研究会の会員が活躍したものの一部を紹介します。

R6年5月	26日	竹鼻南防災訓練
7月	13日	女性部勉強会
7月	27日	桑原スローキャンプ
11月	17日	ボランティアセンター開設訓練
12月	9.10日	羽島高校防災講座
R7年2月	23日	「まさき夢まつり」防災コーナー

詳しくは、<https://hashima-bousai.blogspot.jp/>

令和7年度の主な事業（市）

◇内水ハザードマップの作成

令和3年7月の水防法改正に伴い、令和7年度までに雨水出水浸水想定区域の指定をすることとなり、5年度は、施設情報の整理、解析範囲、解析手法などの基本方針を検討しました。6年度は、策定した基本方針に基づき、調査等を実施しました。そのため、7年度中には内水ハザードマップを作成する予定です。内水ハザードマップには、避難情報のほかに市内で発生する内水氾濫による浸水想定区域や浸水する深さ等を明示し、対策の促進を図ります。

◇市総合防災訓練

令和7年度は、10月26日（日）に南部地域会場の堀津小学校、中島小学校、中島中学校、桑原学園にて訓練を実施します。訓練内容等については、決定次第、市広報誌やホームページ等にてお知らせさせていただく予定をしております。

市では、市防災コーディネーター、市防災研究会の皆様と連携し訓練を実施する予定をしており、8月以降に今年度同様の事前研修やフォローアップ研修を実施する予定をしております。

※今後の開催日程については、岐阜県において「岐阜県地震防災対策推進条例」に基づき、県に最大の被害をもたらした明治24年の濃尾地震の経験を風化させない観点から、県民の皆様から意見をいただき、濃尾地震が発生した「10月28日」を「岐阜県地震防災の日」と定め、防災活動に取り組む日としています。そのため、本市においても、県条例の「10月28日」に基づき、「毎年10月第4日曜日」を市総合防災訓練の日とすることで、自治委員会理事会で協議いたしましたので、ご理解ご協力をお願いいたします。

◇地区防災計画の策定支援

実際に地区に住み、地区の特性をよく知っている住民の方々が、作成に向け、課題を共有し、話し合いを行うことが、いざという時の地域の中での助け合いに繋がるものと考えられています。

地区防災計画は、市が作成について要請して取り組んでいただくものではなく、地区住民の方に自発的に作成いただくボトムアップ型の計画です。

そのため、市では令和4年3月に「地区防災計画作成の手引き」を作成し、市ホームページに公開しております。また、計画作成を検討している地区には、出前講座の開催による防災意識の醸成や、職員の派遣による作成補助など、各地区の計画作成に向けた取組みへの支援をしています。



作成年	地区
平成30年3月	竹鼻南コミュニティセンター
令和3年12月	正木町須賀区
令和5年1月	小熊町新生町
作成中	桑原町

<令和6年度実績 令和7年3月17日時点>

最後に

岐阜県では、令和6年度に能登半島地震を教訓とするため、庁内にプロジェクトチームを設置し、従来の対応や対策について見直しが行われ、7年度当初予算には、「南海トラフ地震の被害想定見直し」や「2次避難の実施に向けた検討」が盛り込まれました。

市では、令和6年度から「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例」を施行したことをきっかけに、ますます市防災コーディネーターや市防災研究会の皆様と連携し、小中学生等の防災教育の推進、地域防災力の向上や地区防災計画作成支援、防災啓発活動等について取り組んでいきたいと考え、事業を進めています。

引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



<中学生防災研修の様子（根尾谷地震断層観察館）>

羽島市防災研究会 事務局

市防災研究会は、市防災コーディネーター登録者の有志が集まり、平成27年4月に設立されたボランティア団体です。事務局から会員への連絡は全てメールでお送りしています。まだアドレスを登録していない方は、このアドレス宛にお名前を明記してお送り下さい。受信しましたら事務局から返信いたします。

メール： office@monja.info

HP：[羽島市防災研究会](https://www.monja.info/)

羽島市役所 市長室危機管理課（情報・防災庁舎1階）

電話：058-392-9915

メール：kiki@city.hashima.lg.jp